

~機能訓練の現場から~

40代男性の利用者様。脳幹出血発症に伴い、体を動かす時に震えて しまう(失調症状)が起こるためADL機能が低下し要介護5となる。 本人の要望は「きた歩きたい」と訴えがあるが、きずは自分でできる ことを増やそう、と目標に向かって日々奮闘中。



座位訓練をする事で、 体幹を自分でコントロールできるようになろう

やっぱり体がゆ れるけど…







★立位訓練★

立位訓練で、重心移動の練習 立つために身体をコントロール

両手で









★歩行訓練★



今までのすべての訓練が 安定した歩行へとつながります



まだまだ介助下での訓練ですが、少しずつ自分で体をコントロールできるようになり、さまざまな動作の介助量が減り、自分で出来る事が増えてきています。ご本人の「歩く」という目標は変わらず、「歩行」へのプロセスの中での動作(起居動作)が確実にできるようにリハビリを継続していきます。